

教 育

1. 1 年次総合農業科学演習

前期（専門基礎科目）・必修・2 単位

履 修 者：120名

実施場所：岡山農場

同演習の見学および演習の一部をセンター岡山農場にて実施した。

2. 2 年次農場実習 I

選択必修（専門基礎科目）・前期・2 単位

履 修 者：46名（A 班：27名，B 班：19名）

担当教員：吉野 他

回	月 日	実 習 内 容	
		A 班（班別実習：ダイズ栽培）	B 班（班別実習：家禽飼育）
1	4.16	オリエンテーション・班分け	（2 班合同）
2	4.23	牧場概要・草地管理（津高牧場）	キクの挿し芽・定植
3	4.30	キクの挿し芽・定植	牧場概要・草地管理（津高牧場）
4	5. 7	ムギ類の形態観察と交配操作	（2 班合同）
5	5.14	甘藷の定植	（2 班合同）
6	5.21	モモの摘果・袋かけ	和牛の飼育・管理（津高牧場）
7	5.28	和牛の飼育・管理（津高牧場）	モモの摘果・袋かけ
8	6. 4	バレイショ・タマネギの収穫	ブドウのジベレリン処理
9	6.11	ブドウのジベレリン処理	バレイショ・タマネギの収穫
10	6.18	水稻移植と水田管理	（2 班合同）
11	6.25	ネギの定植	ブドウの摘粒・袋かけ
12	7. 2	ブドウの摘粒・袋かけ	ネギの定植
13	7. 9	農用ロボットの構造と操作	果菜類の収穫
14	7.16	果菜類の収穫	農用ロボットの構造と操作
15	7.23	まとめ・レポート・アンケート	（2 班合同）

受講者数が多いため、とくに家禽飼育の班別実習は、ティーチングアシスタントを配置しても大変であった。また両班が同じ内容の実習を受講できるようにするための日程調整には苦労させられた。しかし努力しても、作目・栽培時期・天候の関係から、難しい点が多い。今後の課題である。

B 班では、19名の学生が家禽班を希望し、2 人 1 組で土・日曜日を除く毎日、午前 8 時頃と午後 4 時頃の 1 日 2 回に飼養管理を担当する体制で実施した。学生達の飼育期間は 4 月 16 日～7 月 10 日にか

て、孵化直後のアヒルとアイガモのヒナから制限・不断給餌区を設定し、成育相の違いを 7 日ごとの体重調査と外部形態の変化から記録し観察を行った。学生達を書いた野帳に、ヒナから成鳥までの変化が克明に記録されており、家禽類の飼養管理に対する興味の強さが伺われた。なお、希望者を対象にアイガモの解体処理を実施した。そして、履修者全員でアイガモとアヒルの試食会を実施し、命をいただくことの尊さを学習する格好の機会となった。

3. 2 年次農場実習Ⅱ

選択（専門科目）・後期・2単位

履修者：16名

担当教員：吉野 他

回	月 日	実 習 内 容
1	10. 7	オリエンテーション
2	10.21	水稻収穫・収量調査
3	10.28	タマネギの定植，カキの収穫・脱渋
4	11.11	芋類の収穫・貯蔵
5	11.18	ムギ類の播種
6	11.25	キクの芽かき
7	12. 2	サトイモの収穫・貯蔵
8	12. 9	秋野菜の収穫
9	12.16	子牛の去勢
10	1. 9：木曜	草地の管理
11	1.20	ブドウの剪定
12	1.27	カキの剪定
13	2. 3	農業機械の構造と操作
14	2.10	作付け計画
15	2.17	まとめ・アンケート

休日の増加，夏期休業期間の変更などのため，15回の日程を組むのに苦労がある。このため，一部変則的な日程となった。

4. 3 年次作物集中実習

選択（専門科目）・前期集中・1単位

履修者：1名

担当教員：黒田・吉野・後藤

- ビニールハウスの設計・測量・設営
- 農業機械（主にフォークリフト）の操作
- 花市場の見学（9月4日午前）

であった。

7月31日にオリエンテーションと一部の実習を行い，9月2－4日に3日間の実習を行った。実習内容は，

- 野菜と花きの播種・定植・収穫・調整・販売
- ブドウの収穫・調整・販売，モモの接ぎ木

本年は，実習日が学生の日程に合わなかったせいか，極端に受講生が減ってしまい，ビニールハウスの建設などには苦労させられた。

また，花市場の見学には技術部の研修をも合併させた。

5. 3 年次牧場実習

選択（専門科目）・前期集中・単位互換実

習・2単位

履修者：39名（岡山大学16，鳥取
大学17，島根大学6）

実施場所：津高牧場

担当教員：及川 他

回	月 日	内 容	担当者
1	9.17	オリエンテーション・見学	及川
2		機械実習	岸田・野久保・川畑
3		畜舎実習	野久保・川畑
4	9.18	講義：21世紀の畜産経営	横溝
5		牧場管理	岸田
6		畜舎実習	野久保・川畑
7		直腸検査の基礎と応用	奥田
8		飼料の貯蔵と利用	西野
9		畜舎実習	野久保・川畑
10		講義：反芻動物の栄養	坂口
11	9.19	牧場管理	及川
12		畜舎実習	野久保・川畑
13		人工授精と受精卵移植の基礎	舟橋
14		草地の管理	岸田
15		畜舎実習	野久保・川畑
16		講義：和牛の登録制度	河本
17	9.20	牧場管理	及川
18		畜舎実習	野久保・川畑
19		和牛の審査	河本
20		乳の加工と検査法	宮本
21		畜舎実習	野久保・川畑
22		懇親会	
23	9.21	牧場管理	吉野
24		畜舎実習	野久保・川畑
25		和牛の衛生管理	近藤・阿部
26		フィールド記録による 改良法	及川
27		講義：牛の繁殖管理	丹羽
28		講義：食肉の色調変化	泉本

今年度は事前の調整，宣伝の結果，履修者が多くなった。そのため，2班体制で行うことになり，講義室の確保，いすみの確保などに不慣れな面がでてしまった。しかし，併任教員の協力を得ることができたので，充実した実習にすることができた。

6. 岡山大学教育学部附属養護学校「職場体験学習」

教育学部附属養護学校・高等部2年生

履修者：8名（男子4名，女子4名）

付き添い教員：2名

担当教員：吉野

実施場所：岡山農場

見学を行い，10月2－4日に，クロッピングシステム部門に2名，野菜・花き部に3名，果樹部に3名を班分けして，技術部の通常作業のうちの容易な部分を学習してもらった。

農学部3年次生の総合演習Ⅹの受講生も演習の一環として，各班にて演習を行った。

本年の生徒は障害の程度が重い人が多く，技官・学生とも，負担が多かった。

9月30日にセンターへの交通機関・経路の確認と

7. 教育学部3年次「栽培演習」

教育学部3年次・選択（専門科目）・1単位

履修者：7名

担当教員：久保田 他

実施場所：岡山農場

回	月 日	演 習 内 容	担当教官	備 考
1	4.12	オリエンテーション	久保田	
2	4.19	花卉の栄養繁殖	後藤	キクの挿し芽
3	4.26	果菜類の定植	村上	ナスの定植
4	5.10	果樹の新梢管理	久保田	ブドウの誘引
5	5.17	甘藷の定植	吉野	
6	5.24	果樹の栽培管理	福田	モモの摘果・袋かけ
7	5.31	植調剤による無核果生産	久保田	ブドウのジベレリン処理
8	6.14	野菜類の収穫	吉野	タマネギ・パレイショ
9	6.21	水稻移植	斎藤	
10	6.28	果樹の結果量調節	久保田	カキの摘果
11	7. 5	果菜類の栽培管理と収穫	村上	ナスの誘引と収穫
12	7.12	花卉の播種と鉢上げ	後藤	ケイトウ
13	7.19	作付け計画	黒田	
14	7.26	果樹の栄養繁殖	福田	モモの接ぎ木

8. 3 年次総合演習 X

3 年次・後期集中・選択・1 単位

履修者：21 名

担当教員：吉野・川口（教育学部附属養護学校）

実施場所：岡山農場

教職単位として本年度より新規開講された。現代社会における養護教育の位置と必要性を理解し、その実践に携わる際の心構えを体得することを目的とする科目である。

教育学部附属養護学校での見学・講義と、センターにおける養護学校・高等部 2 年生に対する職場体験学習を共にして、障害のある生徒の行動・反応・個性を観察・対応した。

1. 基礎理論と見学（教育学部附属養護学校にて） 9月10日

(1) 障害のある生徒の教育課程と指導法

1) 障害のある児童生徒の学校教育

2) 知的障害養護学校の教育

- ・養護学校の概要（児童生徒の実体、施設設備）
- ・高等部の教育課程（教育目標、教育内容、指導の形態 他）
- ・高等部教育の実際（領域・教科を合わせた指導－作業学習他、領域・教科別の指導）

(2) 授業参観および施設見学

2. 職場体験学習の指導（センター岡山農場にて） 10月2日－4日

(1) 職場体験学習の目的

- 1) 校外で働く経験を通して学校と職場との違いを理解させ、「仕事」に対する心構えを持ち、前向きに取り組もうとする態度を養う。
- 2) 一つ一つの仕事を丁寧に最後までやり遂げさせ、働くことの大切さや達成感を感じ取らせる。

(2) 職場体験学習への参加

クロッピングシステム部門、装置化生産部門（野菜・花き部および果樹部）の現場において、養護学校教諭・農場技官の指導と助言のもとで、生徒に上記目的を達成させるためにはどのように指導すればよいかを体得する。

新規開講科目なので、企画や養護学校側との連絡打ち合わせに苦労があった。障害程度の高い生徒に対して、受講生は大変よく世話をしたが、生徒達に職場での仕事の厳しさを体験させる、という本来の体験学習の趣旨からはやや問題であった。

ただ、学生にとっては、このような強烈な体験は初めてであり、好評であった。